所沢市民放射線測定室「とこらぼ」ニュースレター2023年12月

発行:とこらぼ運営委員会
メールアドレス　tokolabo2013@gmail.com　ホームページ　http://children-foundation-t.jimdo.com/
Facebook　http://www.facebook.com/tokorozwahousyasensokuteijo

いつもとこらぼにご支援いただき、ありがとうございます。今年は久々に、遠方や海外の友人に会うことができました。取り組むべき課題はたくさんありますが、心許せる仲間とつながりながら、まずはこうして、また新しい年が迎えられることに感謝します。
とこらぼが、会員の皆さまと共に成長しあえる場であるように 2024 年も歩みを進めます。今後もご支援のほど、よろしくお願いします。

【とこらぼのつぶやき】
汚染水と汚染土=処理水と除染土(再利用土)

福島第一原発由来の汚染土は、実証実験を行い全国各地へと運ばれ、公共施設や道路工事に使われようとしています。
福島第一原発 ALPS 処理水は、貯水タンクが満杯になるという事から、希釈して海洋放出を始めています。

この二つの事業には共通点があります。どちらも処理をして安全になった物を海洋放出や埋め立て土として利用するという名目の元、最終処分を行うという事です。
処理済という言葉を使い、放射性物質は少量かのように見せています。実際のところは放射性核種を含み、安全性の確証のないまま、その場凌ぎで事業は進行しています。

汚染水(処理水)の海洋放出については、よく他の国でも排出しているという言葉を聞きますが、我が国の汚染水に至っては、熔け落ちた放射性物質の塊に直接触れた水で、海外のものとは比較ができない程色々な放射性核種を含んでいて、ALPS では完全に除去しきれません。また、10月25日には福島第一原発で処理水をそのままかぶる事故が発生しました。5名の作業員が被爆し、2名が入院して28日に退院したという事でした。三次下請けが作業をしていて、責任者は不在だったとの事です。余りにもずさんな処理に不安になりました。

所沢市の環境省環境調査研修所(防衛医大や保育園が隣接)で行われようとしている除染土実証事業は、地域住民の反対により現在進展はありません。しかし、環境省の関係者は「実証事業を行なうに当たり地元住民の許可は必要ない」と発言しています。
市民の中でも実証事業を知らない人もいます。本来は国は一方的な説明会でなく、市民に正確なデータを示し、よく対話した結果であってほしいものです。

日本各地で汚染水や汚染土に反対する署名に取り組んでいます。みなさんの意見を届ける良い機会かもしれません。

【とこらぼ出前講座、喜んで出動】

除染土の実証実験問題が浮上してから、とこらぼへの講演依頼を度々いただくようになりました。

「8,000(Bq/kg)ベクレル以下の土壌が持ち込まれるというが、8,000 ベクレルってどうなの?」
「住宅地でこんな実験して大丈夫なの?」

「事故前は 100 ベクレル以上は厳重管理が原則だったはず、その原則はどうなってるの?」

「放射性物質、セシウム、ストロンチウム、原子核、半減期などよく聞くんだけど、物理の世界のことはやっぱりよく分からない。」

まずは今回の実証実験がどういうことなのか。
みんなで学んでいきましょう。

「とこらぼさん、教えてー!!」
「はーい! お任せを!!」

難解な物理の世界ですが場数をこなすことで、とこらぼ専任スタッフも日に日に、話しの分かり易さがバージョンアップしています。

まずは、福島第一原子力発電所周辺の映像を見ていただくことから始まります。

小豆川勝見先生(東京大学、放射線測定の専門家)が現地の調査活動中に撮影したもので大変見ごたえがあります。
その後に、解説を交えながら原子の大きさである直径 1Å(オングストローム)=1/1 億 cm の世界へと皆さんをご案内し、疑問にもお答えするという内容になっています。

政府は 2045 年までに中間貯蔵施設の 8,000Bq/kg 以下の土は、全国の土木事業に建設資材として運び出す方針でいます。
その最初の実証実験がこの所沢市で行われようとしています。
問題が起こったときが、学びのチャンス。
お声かけくだされば、とこらぼは喜んで馳せ参じます。

【公開測定】
今回のお題「福島第一原発事故後の庭の土の今」

測定室を開設していると今回の庭の土もさることながら、富士山 5 合目のきのことか、家庭菜園脇の路傍の土を毎年測定しに来られる方など興味をそそられる測定が舞い込んだりします。このようなことがあるので今でも測定が止められないでいます。

福島第一原発事故 2 年後のことでした。入間市在住の M さんが庭から 5 カ所の土を持ってこられ測定したことがありました。その M さんが 10 年前の土を保管していて、今その土がどうなったか測定して欲しいと持ってこられました。

事故 2 年後の測定値は、セシウム 137 と 134 合計 75～325Bq/kg(ベクレル毎キログラム)という結果におののいていたことが思い出されます。そして今回の結果は、セシウム 137 が 75Bq/kg でした

ここで「セシウム 134 はどうしたの？」と思われたのではないでしょうか。
セシウム 137 の半減期は 30 年です。セシウム 134 の半減期は 2 年なので、事故の直後を 1 とすると、2 年後は 1/2、4 年後は 1/4 に、1/2 づつ放射線を出しながら減ります。現在福島第一原発事故から 13 年になるのでセシウム 134 は約 1/80 です。

(福島原発事故由来のセシウム 137 が 100Bq/kg 以下だと「とこらぼ」の測定器ではセシウム 134 は検出限界値以下になります。)

この 10 年後の測定結果は、セシウム 137 と 134 の自然崩壊を知ることができる貴重な資料となりました。放射線の経過を今でも気にかけている M さんへの敬意をもって測らせていただきました。

【2024 年「とこらぼまつり」開催のお知らせ】

講師には、小豆川先生をお願いしています。
日本で唯一(いや世界中でも)、現地の実態を把握し伝えられる研究者として、この先生以外には考えられません。

今から予定に入れておいてください。参加をお待ちしています。
先生への事前質問も受け付けます。

◎テーマ 「帰還困難区域のいま～現場からの報告～」
◎日程 2024 年 3 月 3 日(日) 13 時 30 分～15 時 30 分
◎場所 所沢市内公民館を予定
◎講師 小豆川勝見先生

1979 年生まれ。東京大学卒業後、東京大学大学院博士課程 修了。
現在、東京大学大学院環境分析化学研究室 助教。
2011 年より福島第一原発から放出された放射線物質の測定を始め、
毎月、帰還困難区域に入り調査活動を行っている。
2016 年より世田谷区教育委員会 放射線アドバイザー。
消費者庁の「食と放射能」講師。
福島県大熊町の除染検証委員。
放射線を分かりやすく子どもに伝える講演会が好評で、
福島県など全国の学校から依頼を受け小中学生に放射線授業をおこなう。
自治体や市民、子どもと対話をしながら、社会の側にたった視点を持ち続ける研究姿勢は世界の研究者からも高い評価と信頼を得ている。

【とこらぼ会員の声】
大石　勝枝さん（所沢市在住・元小学校教師）

福島の友を思う

2011 年 3 月 11 日、宮城県沖を震源とする大地震が起きました。その後の大津波により多くの家屋や車などが流されていく恐ろしい光景がテレビに映し出され、茫然と見ていた私にさらに衝撃的な事態が知らされました。
福島第一原発の水素爆発です。

私には若い頃に同僚だった、富岡町で母親と暮らしている友人がいました。
全町避難に追い込まれた中で高齢の母親とどうしているのか？　無事だろうかと所沢の友人と連絡を取り合っているうちに、母親ともども避難所で無事でいることが分かりほっとしたものです。やがて友人は埼玉に住んでいる兄一家のもとへ母親を連れて避難してきました。早々に訪ねて行き無事を喜び合いました。30 数年ぶりの思わぬ再会でした。

実は友人が早期退職をして富岡町の実家に戻り両親と暮らしているところへ、所沢の友人と 2 人で訪ねて行ったことがありました。まだその時はご両親も健在で、お父さんは我々2 人を喜んで迎えてくれ、富岡町のあちこちを案内してくださいましたし、海辺では福島第一原発も見えていました。
町の中心部には立派な建物も建っており、お父さんはとても誇らしげに紹介してくれたのを覚えています。原発の安全性を信じ、街を豊かにしてくれていると富岡町全体の誇りとなっていたのですね。

その頃の私は、原発のことは何も知らず、関心もありませんでした。
福島第一原発の爆発でこの狭い日本で 50 数機も原発が存在していることを初めて知り、何ということかと無知の恐ろしさを痛感しました。少しでも学習をしなくてはと「とこらぼ」に入会し、小豆川先生のお話を聞いたりして学習を深めています。原発の再稼働はとんでもないと思っていましたが、現在 4 基が稼働しているとのこと、汚染水の海洋への放出、汚染土の所沢への持ち込み等々、課題はたくさんありますが、今まだ避難を余儀なくされている方々や今は郡山で一人暮らしとなった友人への力に少しでもなれるよう、これからも活動して行きたいと思います。

「とこらぼ」では以下のような業務をお手伝いしてくれる方を随時募集しています
測定スタッフ//測定補助・受付手伝い//公園土壌調査プロジェクトスタッフ//公開測定メンバー
ご自宅やご自宅周辺でできる作業もありますので、ご興味のある方はぜひお問い合わせください。
メール：tokolabo2013@gmail.com　　電話：080－6257－2306

「とこらぼ」メーリングリストに登録しませんか？
公開測定のご案内や結果速報、イベント情報を随時発信しています。
登録ご希望の方は、上記メールアドレスに「メーリングリスト登録希望」と書いてお送りください。